

## 平成31年度 府立網野高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

| 学校経営方針（中期経営目標）  | 前年度の成果と課題  | 本年度学校経営の重点（短期経営目標）   |
|---|--|--|
| <p>1 生徒信条「青年は未来を信じ使命に生きる」の精神にのっとり、将来に対する夢や目標を持たせ希望進路の実現に向けて挑戦する姿勢を大切にする。</p> <p>2 網高SVC（スタディー・ボランティア・クラブ）を推進し、知・徳・体・美のバランスのとれた生徒を育てる。</p> | <p>（成果）</p> <p>1 広報紙発行やホームページのタイムリーな更新によって、本校の特色・魅力を広く発信できた。</p> <p>2 年間平均自主学習時間は、昨年度よりさらに増加して113分で、目標としていた110分以上を達成した。</p> <p>3 5分前登校がほぼできており、落ち着いた学習環境が維持できている。また、部活動加入率も高水準で維持できた。</p> <p>4 チューター制をはじめとする丁寧な面談や面接・小論文指導等により、就職希望者全員の内定や国公立大学推薦入試で多くの合格を出すことができた。</p> <p>5 企画経営科では、専門学科教育を充実させ、地域貢献・地域創生の取組を推進するとともに、資格取得等で11名が教育長表彰を受けた。</p> <p>6 教職員メールを活用した業務改善や部活動の休養日設定を行った。教職員の20時退勤を目標に設定することで教職員の意識改革につながった。</p> <p>（課題）</p> <p>1 ICT活用やアクティブ・ラーニングの推進は一定進んだが、授業評価アンケートで主体的に学習に取り組んだ生徒の割合は減少した。</p> <p>2 いじめ認知件数は3件であった。</p> <p>3 ボランティア活動は新規の取組もあったが、参加延べ人数は目標に達しなかった。</p> <p>4 4年制大学推薦入試・一般入試に向けたさらなる実践力の養成が必要である。</p> | <p>1 遠隔教育システムを活用した取組等、学舎制による再編に向けて、久美浜高校との連携を進める。</p> <p>2 産官学連携による地域創生教育を推進し、地域の将来を担う人材を育成する。</p> <p>3 オリンピック・パラリンピック教育推進校として、スポーツを通して共生社会を目指す教育を推進する。</p> <p>4 広報活動の充実を図り、本校の特色・魅力を発信し、本校を第一志望とする生徒の増加を図る。</p> <p>5 ICT活用やアクティブ・ラーニングによる授業改善を進め、主体的に学ぶ生徒の育成を図る。</p> <p>6 学校行事・部活動・ボランティア活動等をとおして主体的に考え、行動する生徒の育成を図る。</p> <p>7 いじめには組織的に対応し、予防や早期発見・早期解消に努めるとともに、情報モラル教育の徹底を図る。</p> <p>8 1年次からの徹底した進路指導により、進路意識の向上を図るとともに、希望進路実現のための基礎・基本の徹底と実践力の養成を図る。</p> <p>9 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を踏まえ、コンプライアンス意識の向上や新学習指導要領への対応等、ステージに応じた教職員の資質能力の向上を図る。</p> <p>10 教職員の働き方改革を進めるために、教職員の意識改革と業務改善に取り組む。</p> |

| 評価領域  | 重点目標                         | 具体的方策  | 評価 | 成果と課題 |
|-------|------------------------------|--|----|-------|
| 特色化事業 | ・広報活動の充実と生徒募集の拡大             | ・広報紙とホームページにより本校の教育活動の特色・魅力を広く発信する。<br>[ホームページの更新回数週5回]                                  |    |       |
|       | ・地域創生の取組とオリンピック・パラリンピック教育の推進 | ・地域と連携した活動に主体的に取り組むとともに、地域の魅力や課題に気づき、その発信や課題解決に取り組む。<br>[TACの取組年間4回以上]                   |    |       |
|       |                              | ・パラリンピック種目をはじめとしたアダプテッドスポーツ等の理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが共に楽しめるポッチャを体験する。<br>[生徒のポッチャ体験者の割合100%] |    |       |
| 組織・運営 | ・学舎制実施に向けた体制整備               | ・学舎制に実施に向け検討を一層進めるとともに、久美浜高校と連携した取組を計画・実施する。<br>[久美浜高校と連携した取組年間5回以上]                     |    |       |
|       | ・教職員の資質能力の向上                 | ・本校の教育課題への対応と教職員のステージに応じた能力向上のための研修の充実を図る。<br>[センター研修の受講延べ数25回以上]                        |    |       |
|       | ・教職員の意識改革と業務改善による働き方改革の推進    | ・業務改善アンケート等を実施し、業務の見直し効率化を進めるとともに、19時30分退勤を目標とする。<br>[学校全体での業務改善各分掌1項目以上]                |    |       |
| 学習指導  | ・生徒の主体的な学びの支援                | ・アクティブ・ラーニングを推進し、生徒の主体的な学びを深めさせる。<br>[授業評価アンケートで主体的な学びが工夫されていると回答した生徒の割合80%]             |    |       |
|       | ・効果的な授業に向けた取組の推進             | ・ICT機器や遠隔教育システムの積極的な活用を推進する。[ICT機器及び遠隔教育システムを活用した教員の割合90%]                               |    |       |
|       |                              | ・科目間の相互関連性を重視した年間指導計画についての研究を進める。[教科主任会議を通じて検討会を5回以上実施]                                  |    |       |
| 生徒指導  | ・健全な生活態度を維持できる人間の育成          | ・明るく元気なあいさつ・身だしなみ、礼儀・マナーの指導、予鈴登校・ベル前着の定着に全教職員で取り組む。<br>・情報モラルに関する講演会を実施する。               |    |       |

|              |                                  |   |  |  |
|--------------|----------------------------------|---|--|--|
|              |                                  | [年間遅刻回数30回以内]   |  |  |
|              | ・心身の調和のとれた人間の育成                  | ・新入生体験入部週間等を実施して部活動加入率を維持する。<br>・新規の取組を取り入れ、生徒会（委員会）活動の活性化を図る。<br>・いじめを見逃さず、組織的に早期に対応する。<br>[部活動加入率80%以上]                       |  |  |
|              | ・地域社会に貢献できる人間の育成                 | ・地域連携や自転車安全推進員の活用等によりボランティア活動の活性化と職業観の醸成につながるよう充実を図る。<br>[年間活動延べ人数1500人以上]  |  |  |
| 進路指導         | ・主体的な進路意識の育成                     | ・1、2年生の生徒、保護者に対して大学入試改革等に関する最新情報を効果的に提供する。<br>・各種進路行事の適切な実施と担任、チューター、進路指導部員による面談をきめ細かに実施する。<br>[1年生の進路希望未定者10人以下、2年生の進路希望未定者0人] |  |  |
|              | ・希望進路の実現                         | ・就職講習、模擬面接等早期からの就職指導を充実させる。<br>・授業、進路講習、デジタルコンテンツ事業、小論文指導、面接指導等を一体的に行う。<br>[就職内定率100%、最終進路希望調査の希望実現率90%以上]                      |  |  |
| 保健・安全<br>教 育 | ・健やかな心身の育成と食育の推進                 | ・外部機関と連携した講演会を開催する。<br>・生徒保健委員会による健康啓発活動に取り組む。<br>[講演会2回以上、保健委員会の取組2回以上]  |  |  |
|              | ・安全意識の向上と危機対応能力の育成               | ・防災訓練を2回実施する。<br>・自転車安全推進員講習会を実施する。<br>[防災訓練2回、自転車安全推進員講習会1回]   |  |  |
| 人権教育         | ・生徒の人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた具体的な行動の促進 | ・人権学習や日々の生徒指導を通じ、様々な人権問題を正しく理解させる。<br>[人権学習ホームルーム各学年2回以上実施]   |  |  |
|              | ・教職員の認識の深化と指導力の向上                | ・新たな差別解消法制定等の状況を踏まえた校内教職員研修を1回以上実施する。<br>[研修実施回数]   |  |  |